

平成28年版

消防年報



北広島町教育委員会 提供

県指定無形民俗文化財 本地花笠おどり
国選択無形民俗文化財

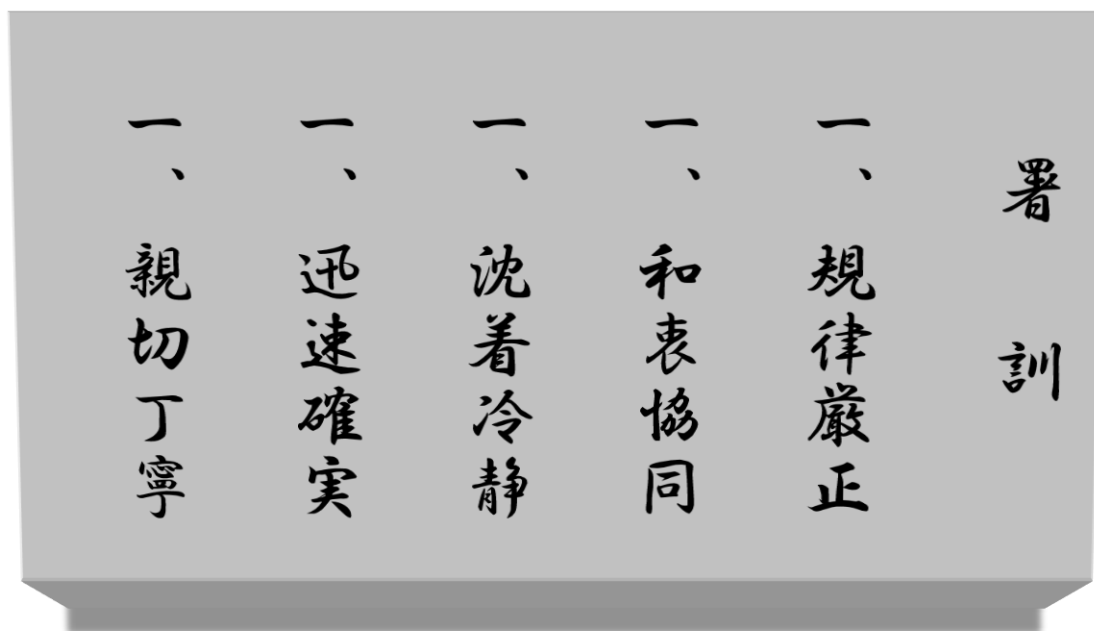
北広島町消防本部

はじめに

この消防年報は、北広島町の現勢及び消防行政に関する諸般の事象を収録し、本町の消防実態を広く紹介するとともに、将来の参考に資するために編集したものです。

調査基準日については、火災、救急、救助等の統計については暦年とし、総務、予防等に関する統計は年度（消防団編は、平成29年4月1日現在）で取りまとめています。

平成29年6月



〒731-1531 広島県山県郡北広島町春木516番地

電話 0826-72-0119

FAX 0826-72-5145

I P 050-5812-1119

E-m: syoubou-soumu@town.kitahiroshima.lg.jp

いのち
「大切に！！生命・財産・ふる里を」

目 次

概 要

1	位置及び地勢	1
2	人口、世帯数、面積	2
3	当初予算額(消防費)の比較	2
4	消防車両配置表及び配置図	2
(1)	消防車両配置表	2
(2)	消防車両配置図	3
5	北広島町消防本部沿革	4
6	山県東中部消防組合消防本部沿革	6
7	消防応援協定	10

総務編

1	北広島町消防本部の組織	11
2	歴代消防長	12
3	消防庁舎の概要	12
4	山県東中部消防組合時代の歴代管理者、議長、消防長	13
(1)	管理者	13
(2)	組合議長	13
(3)	消防長	13
5	消防職員の現況	14
(1)	実員	14
(2)	職員の配置状況	14
(3)	職員の経験年数	14
(4)	職員の年齢	14
(5)	職員の研修・資格取得状況	15

予防編

1	防火対象物状況	16
2	3階以上の建築物の棟数	17
3	立入検査実施状況	17
4	防火管理者選任状況	17
5	防火管理講習実施状況	17
6	予防事務処理状況	18
7	危険物施設状況	19
8	危険物施設等事務処理状況	19
9	建築同意事務処理状況	20
10	広報活動実施状況	20
11	火薬類事業所の現況	21
12	火薬類関係届出状況	21
13	高圧ガス事業所の現況	21
14	高圧ガス保安法事務処理状況	22
15	民間防火組織一覧表	23
(1)	幼年消防クラブ	23
(2)	少年消防クラブ	23
(3)	女性防火クラブ	23
(4)	自主防災組織	24

警防編

1	消防車両の配置と性能	26
2	消防機械器具現有状況	27
3	消防無線現有状況	29

4	火災	31
(1)	平成28年の火災概況	31
(2)	出火原因別火災発生状況	31
(3)	地域別火災発生状況	32
(4)	過去5年間の火災件数及び損害額等の推移	32
(5)	過去5年間の主な建物火災	33
(6)	時間・月別火災発生状況	33
(7)	曜日・月別火災発生状況	34
(8)	月別火災発生状況	34
(9)	過去5年間の火災件数の推移(種別)	35
(10)	過去5年間の地域別火災件数	35
5	救急	36
(1)	平成28年の救急概況	36
(2)	救急隊別出場件数状況	36
(3)	管轄内・外居住別搬送人員状況	36
(4)	事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	37
(5)	現場到着所要時間別出場件数状況	38
(6)	収容所要時間別搬送人員状況	38
(7)	地域別出動件数状況	39
(8)	時間別救急発生件数状況	39
(9)	過去5年間の救急出動・搬送人員の推移	40
(10)	過去5年間の管轄内・外医療機関収容率	40
6	救助	41
(1)	平成28年の救助概況	41
(2)	過去5年間の救助活動状況	41
7	その他の出動	42
(1)	平成28年のその他の出動概況	42
(2)	過去5年間のその他の出動状況	42
8	119番取扱状況	43
(1)	平成28年の119番受信件数	43
(2)	通報種別119番受信状況	43
(3)	月別・地域別119番受信状況	43
(4)	地域別119番受信状況	44
(5)	地域別・通報種別119番受信状況	44
(6)	過去5年間の119番受信状況(携帯119番を含む)	45
9	緊急通報(あんしん電話)取扱状況	46
10	災害通報取扱状況	47
(1)	平成28年の災害通報受信件数	47
(2)	覚知別災害通報受信状況	47
(3)	月別・覚知別災害通報受信状況	47
11	出動指令状況	48
12	気象観測状況	49
(1)	月別気温、湿度、風速、雨量観測状況	49
(2)	月別、気象警報・注意報の発令状況	49

消防団編

1	消防団組織図	50
2	消防団長	51
3	報酬・手当	51
4	消防団員数	52
5	消防団員の在職年数・年齢	52
(1)	在職年数	52
(2)	年齢	52
6	消防ポンプ自動車等の保有状況	52
7	町内水利状況	53

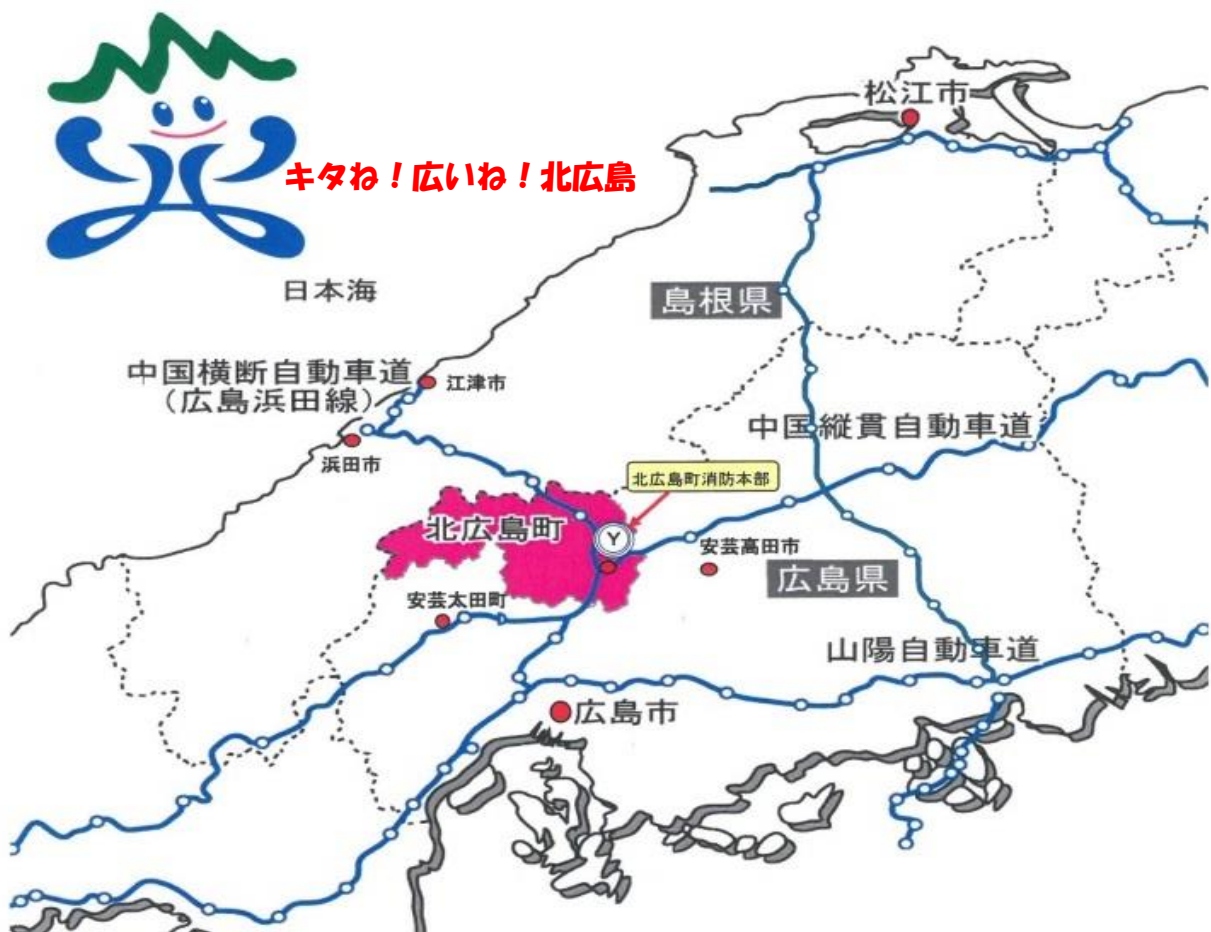
1 位置及び地勢

当消防本部は、広島県の北西部である芸北地域のほぼ中央部に位置する北広島町を管轄し、北及び西は島根県に接し、東は安芸高田市、南は広島市や安芸太田町に接した農村地帯である。

管内は、東西に中国縦貫自動車道が通過し、南北に中国横断自動車道広島浜田線と接続しており、京阪神地域と九州地方の中間点として位置し、広島市と島根県浜田市、江津市を結ぶ陰陽連絡の交通の要衝となっている。また、河川は中国地方を代表する江の川と太田川水系の源流域に当たり、町の東側が江の川水系、西側が太田川水系となり両河川の水源地である。

管轄する面積は646.20km²を有し、山県郡全体のおよそ2/3を占め、林間の耕地が多く、過疎の現象を呈しているのが現状である。しかしながら、広島都市圏に接していることもあって、交通条件、地域資源の活用などによって観光・レクリエーションエリアとして都市部との交流が盛んになっている。

気象的には、消防本部付近で、平均気温12.5℃、年間降雨量1,911.5mmと平年並みであった。降雪量は全体的に平年より少なく、芸北地域八幡地区においても累積降雪量は493cmであった。



2 人口、世帯数、面積

	北 広 島 町
人 口	19,109 人
世 帯 数	8,494 世帯
面 積	646.20 km ²
常 備 消 防	北広島町消防本部
非 常 備 消 防	北広島町消防団

3 当初予算額(消防費)の比較

(単位:千円)

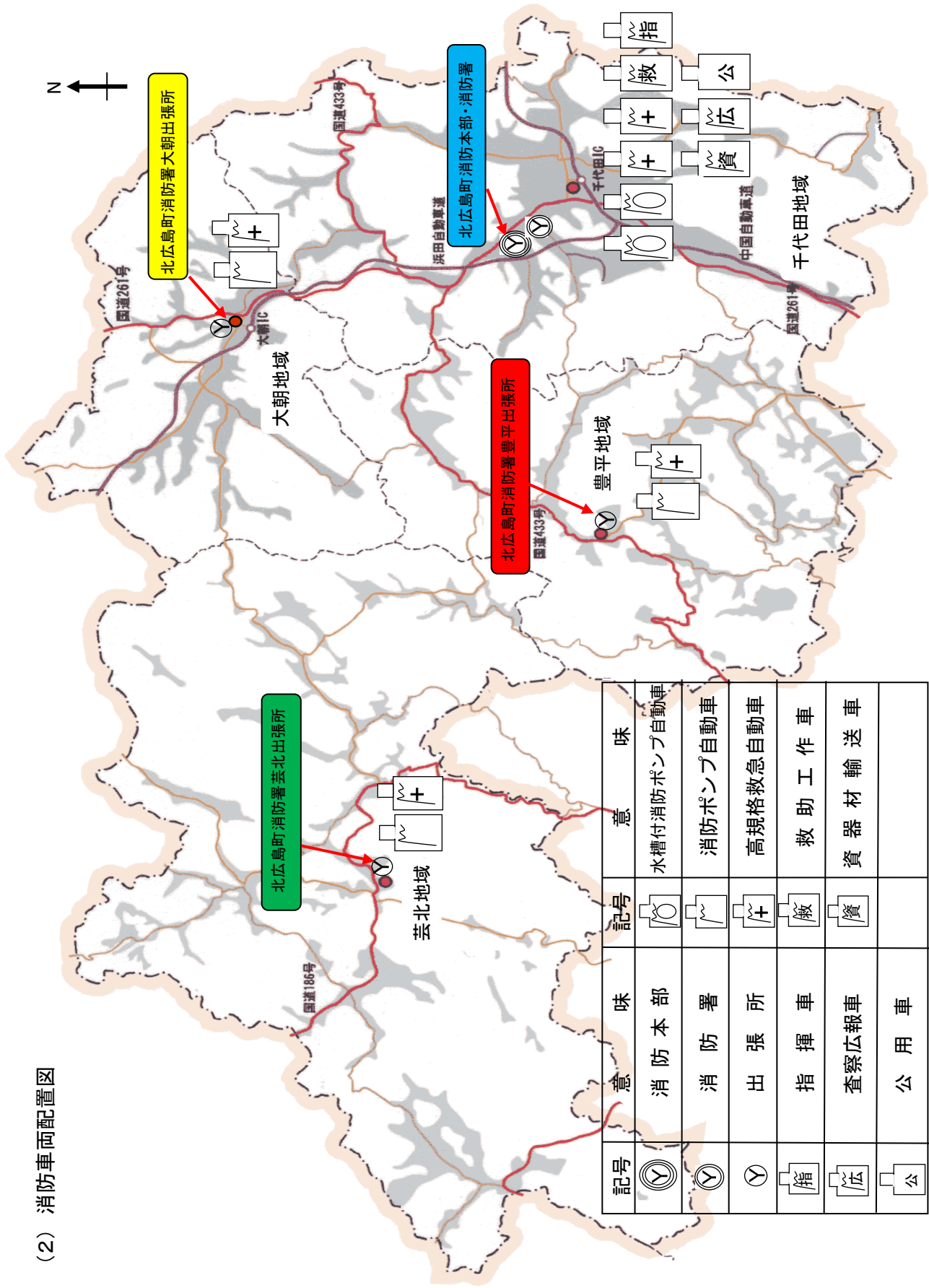
年度 区分	平成28年度当初予算額	平成27年度当初予算額	比 較
一般会計(A)	14,720,000	15,770,000	△ 1,050,000
消 防 費 (B)	696,015	1,124,319	△ 428,304
常 備 消 防 費	568,127	997,419	△ 429,292
非 常 備 消 防 費	98,635	86,825	11,810
施 設 整 備 費	17,013	13,543	3,470
防 災 費	12,240	26,532	△ 14,292
比率(B)/(A)	4.7 %	7.1 %	△ 2.4 %

4 消防車両配置表及び配置図

(1) 消防車両配置表

署所別 車両	本部	本署	芸北	大朝	豊平	計
救 助 工 作 車		1				1
水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車		2				2
消 防 ポ ン プ 自 動 車			1	1	1	3
資 器 材 輸 送 車		1				1
高 規 格 救 急 自 動 車		2	1	1	1	5
指 揮 車	1					1
査 察 広 報 車	1					1
公 用 車	1					1
合 計	3	6	2	2	2	15

(2) 消防車両配置図



5 北広島町消防本部沿革

年	月	日	概	要
平	17	02	01	北広島町(新町)開設に伴い新生消防本部へ移行
平	17	02	01	北広島町消防本部開庁
平	17	04	27	救急救命士資格取得(1人)実員12人
平	17	06	23	広島県メディカルコントロール協議会認定(気管内挿管資格取得)1人(実員1人)
平	17	09	13	携帯119直接受信対応工事
平	17	09	13	財団法人日本宝くじ協会よりAEDリトルアントレーニングシステムセット寄贈を受ける
平	18	03	09	災害対応特殊消防ポンプ自動車(CD-I)購入し大朝出張所に配備
平	18	03	27	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入し本署に配備
平	18	03	31	消防吏員1人退職(定員46人 実員45人)
平	18	06	06	豊平出張所消毒室新設工事(簡易型)
平	18	06	14	大朝出張所消毒室新設工事(簡易型)
平	18	07	18	資器材輸送緊急自動車(2tトラック)購入し本署に配備
平	18	11	07	日本損害保険協会より脊椎固定器具一式寄贈
平	18	11	24	大朝出張所無線基地局改修工事
平	18	11	28	広島県メディカルコントロール協議会認定(薬剤投与資格取得)1人(実員1人)
平	19	01	30	日本防火協会「防火広報用視聴覚資器材助成事業」によりプロジェクター、ビデオカメラ等広報資器材受領
平	19	02	13	芸北地域NTT回線(専用回線)切替工事
平	19	02	15	山県西部消防事務引継ぎ実施
平	19	02	28	指令・防災無線専用回線施工完了
平	19	03	06	芸北地域内NTT119回線工事完了
平	19	03	28	高曽根山無線中継所改修工事完了
平	19	03	31	NTT119回線切替工事完了
平	19	03	31	初代消防長離任(本庁危機管理監就任)
平	19	03	31	携帯119(3業者)切替工事完了
平	19	03	31	通信指令システム改修工事完了
平	19	04	01	芸北地域の消防業務開始、午前0時身分移管、午前8時30分指令開始
平	19	04	01	2代消防長就任(部内登用)
平	19	04	01	元山県西部消防組合職員8人採用、救急救命士2人広島市消防局より派遣(本署勤務)
平	19	04	01	元山県西部消防組合消防車両移管分車両移送(指揮車、査察車、公用車)
平	19	09	03	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	20	03	31	消防吏員2人退職[1人退職、1人(救急救命士)広島市消防局へ帰任]
平	20	04	01	消防吏員2人採用
平	20	05	02	救急救命士資格取得(1人)実員13人
平	20	06	07	芸北出張所消毒室新設工事(簡易型)
平	20	09	01	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	20	12	01	広島県メディカルコントロール協議会認定(薬剤投与資格取得)2人(実員3人)
平	21	03	31	消防吏員1人退職[1人(救急救命士)広島市消防局へ帰任]
平	21	04	01	消防吏員2人採用
平	21	05	02	救急救命士資格取得(1人)実員14人(薬剤投与資格取得)1人(実員4人)
平	21	08	31	新型インフルエンザ対策「業務継続計画」・「感染防止対策実施要領」・「人員計画実施要領」・「通信業務要領」・「感染患者等の搬送要領」策定
平	21	09	01	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	22	03	31	消防吏員1人退職
平	22	04	01	消防吏員1人採用
平	22	04	01	本庁から行政職1人受入れ(警防係専門員)
平	22	04	01	週38時間45分勤務施行
平	22	05	02	救急救命士資格取得(1人)実員15人(薬剤投与資格取得)1人(実員5人)
平	22	09	01	救急救命士養成課程1名派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	22	11	30	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入し大朝出張所に配備(緊急消防援助隊設備整備費補助事業)
平	23	03	12	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)へ緊急消防援助隊(救急隊1隊3人)派遣(3月12日から31日まで20日間、5隊15人を派遣)
平	23	04	06	公用車(マツダ デミオ)購入し本署へ配備

年	月	日	概	要
平	23	04	28	救急救命士資格取得(1人)実員16人(薬剤投与資格取得)1人(実員6人)
平	23	08	31	北広島町役場豊平支所改修(豊平出張所移転工事)着工
平	23	09	28	広島県メディカルコントロール協議会認定(薬剤投与資格取得)2人(実員8人)
平	23	09	30	位置情報通知システム(簡易型)運用開始
平	23	10	25	上下式防火衣(ISO規格)第1期整備 30着購入
平	24	03	06	北広島町役場豊平支所改修(豊平出張所移転工事)完了
平	24	03	14	豊平出張所豊平支所へ移転(北広島町戸谷1088番地1)
平	24	03	16	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)を購入し豊平出張所に配備
平	24	03	26	北広島町役場豊平支所庁舎改修竣工式
平	24	03	31	行政職1人本庁へ帰任(警防係専門員)
平	24	04	01	消防吏員1人採用(定員55人 実員55人)
平	24	07	06	緊急消防援助隊支援資機材(エアートント一式)の国からの無償使用
平	24	07	30	広島県メディカルコントロール協議会認定(薬剤投与資格取得)1人(実員9人)
平	24	08	29	上下式防火衣(ISO規格)第2期整備 24着購入 全職員へ貸与完了
平	24	10	19	KDDI IP電話119番回線収容工事
平	24	11	09	除雪機購入、芸北出張所に配備
平	24	12	27	広島県メディカルコントロール協議会認定(薬剤投与資格取得)1人(実員10人)
平	25	02	21	消防緊急通信指令システム(情報系改修)試験運用開始
平	25	02	28	消防救急無線のデジタル化基本設計完了
平	25	03	19	消防緊急通信指令システム部分改修(情報系)完了
平	25	03	31	消防吏員1人退職
平	25	04	01	消防吏員1人採用(定員55人 実員55人)
平	25	04	12	広島県ドクターヘリ運用開始
平	25	07	01	職員定数条例改正(消防機関の職員 定員60人)
平	25	07	18	緊急通報システムセンター機器(あんしん電話)更新 運用開始
平	26	02	17	広島県メディカルコントロール協議会認定(薬剤投与資格取得)1人(実員11人)
平	26	02	25	水槽付(2,000ℓ)消防ポンプ自動車(日野レンジャー)を購入し本署に配備
平	26	03	24	消防救急無線のデジタル化実施設計完了
平	26	03	31	2代消防長退職
平	26	04	01	3代消防長就任(部内登用)
平	26	04	01	消防吏員2人採用(定員60人 実員56人)
平	26	06	25	消防救急デジタル無線整備工事着工
平	26	08	20	広島土砂災害へ応援隊(救助隊1隊4人)派遣 (8月20日から29日まで10日間、10隊41人を派遣)
平	26	12	09	救助工作車Ⅱ型(日野レンジャー)を購入し本署に配備
平	26	12	24	裏車庫解体撤去工事完了
平	27	02	16	本署更衣室設置工事完了
平	27	03	01	冬季災害発生時における芸北支所のスノーモービルの使用に関する覚書締結
平	27	03	31	消防吏員4人退職
平	27	04	01	消防吏員7人採用(定員60人 実員59人)
平	27	04	30	救急救命士資格取得(1人)実員17人(薬剤投与資格取得)1人(実員12人)
平	27	07	27	本署車庫設置工事完了
平	27	11	17	消防救急デジタル無線整備工事完了
平	28	03	16	高機能消防指令センター部分改修(通信系)完了
平	28	03	26	消防救急デジタル無線・高機能消防指令センター竣工式
平	28	03	31	消防吏員6人退職(うち救急救命士1人)
平	28	04	01	消防吏員6人採用(定員60人 実員59人)
平	28	04	26	救急救命士資格取得(1人)実員17人(薬剤投与資格取得)1人(実員13人)
平	28	10	24	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)を購入し本署に配備
平	29	02	01	CAFS装置付消防ポンプ自動車(日野デュトロ)を購入し豊平出張所に配備
平	29	03	31	3代消防長及び消防吏員1人退職(うち救急救命士1人)

6 山県東中部消防組合消防本部沿革

年 月 日	概 要
昭 54 08 14	山県東中部消防組合設立許可(広島県知事・指令市第114号)
昭 54 09 10	消防長以下11人の消防吏員採用
昭 54 09 20	119番設置
昭 54 10 01	ウツミ物産(株)所有の事務所を昭和54年10月1日から昭和55年7月3日までの間借用し仮事務所とする。
昭 54 10 09	広島市消防局より救急車(3B型)借用(昭和54年10月9日～昭和55年1月31日)
昭 54 10 09	指揮車(トヨタ クラウン)購入し本署に配備
昭 54 10 11	開庁式
昭 54 10 18	本署 救急業務開始
昭 54 10 19	本署 消防無線電話開設
	中国縦貫自動車道千代田～三次間供用開始
昭 55 01 19	日本損害保険協会から救急車(ニッサン3B型)の寄贈を受け、本署に配備
昭 55 03 30	予防査察車(三菱ジープ4WD)購入し本署に配備
昭 55 04 01	消防吏員19人増員(実員30人)
昭 55 04 01	予防業務開始
昭 55 04 02	政令指定を受ける。(自治省・告示第81号)
昭 55 04 07	本部・署庁舎起工式
昭 55 07 25	消防ポンプ自動車(BD-I型)購入し本署に配備
昭 55 07 30	庁舎(本部・署)完成
	鉄筋コンクリート造2階建・延べ面積506.19㎡・総工費83,051千円
昭 55 08 01	本部及び署を千代田町大字春木516番地に移転
昭 55 08 01	本署 警防業務開始
昭 55 08 01	大朝出張所仮事務所(大朝町基幹集落センター)において救急業務開始
昭 55 08 01	大朝出張所 消防無線電話開設
昭 55 09 26	大朝出張所庁舎完成
	鉄筋コンクリート平屋建・延べ面積220.66㎡・総工費36,975千円
	大朝出張所 大朝町大字新庄921番地3に移転
昭 55 11 17	山県東中部消防組合同規約変更許可(広島県知事・指令市第230号)
昭 55 12 11	林野火災特別地域に指定される。
昭 55 12 20	救急車(トヨタ2B型)購入し大朝出張所に配備
昭 56 04 01	消防吏員10人増員(実員40人)
昭 56 07 29	豊平出張所庁舎完成(豊平町都志見230番地1)
	鉄筋コンクリート平屋建・延べ面積239.21㎡・総工費42,726千円
昭 56 07 29	消防ポンプ自動車(ニッサンBD-I型)2台購入し豊平・大朝両出張所に配備
昭 56 08 01	豊平出張所開設 警防・予防業務開始
昭 56 08 01	豊平出張所 消防無線電話開設
昭 56 08 01	大朝出張所 警防業務開始
昭 56 09 21	日本消防協会から救急車(トヨタ2B型)の寄贈を受け豊平出張所に配備
昭 57 03 31	小型動力ポンプ積載車(トヨタ)3台購入し本署・豊平・大朝出張所にそれぞれ配備
昭 57 04 30	大朝出張所 積載車車庫完成
昭 57 05 15	豊平出張所 積載車車庫完成
昭 57 05 20	本署 訓練塔完成(簡易)
昭 57 05 21	高田地区消防組合と消防相互応援協定の締結
昭 57 11 10	本署 気象観測装置設置
昭 58 03 24	中国自動車道 千代田～鹿野間供用開始(全線開通)
昭 58 07 13	広島県内共通波設置
昭 59 10 01	本署 危険物屋内貯蔵所完成
昭 59 10 22	社団法人日本損害保険協会から水槽付(1,700ℓ)消防ポンプ自動車(三菱)の寄贈を受け、本署に配備
昭 59 12 17	広島県同栄社共済農業協同組合連合会から救急車(ニッサン2B型)の寄贈を受け、本署に配備
昭 60 04 01	消防吏員1人採用(退職補充 定員40人 実員40人)
昭 61 09 10	通信指令室完成 コンクリートブロック造・建築面積14.02㎡・建築費2,270千円
昭 61 09 15	119番集中システム運用開始
昭 62 03 31	初代消防長退職

年	月	日	概	要
昭	62	04	01	広島市消防局より派遣消防長就任(2代)
昭	62	10	01	広島県内広域消防相互応援協定締結
昭	62	10	17	山県東中部危険物安全協会設立
昭	63	03	30	社団法人日本損害保険協会から救急車(ニッサン2B型)の寄贈を受け、大朝出張所に配備
昭	63	03	24	陰陽(県境)隣接広域消防相互応援協定調印式 江津市外7町村消防組合消防本部 備北地区消防組合消防本部 高田地区消防組合消防本部 山県東中部消防組合消防本部
昭	63	03	31	消防吏員1人退職
昭	63	04	01	消防吏員1人採用(退職補充 定員40人 実員40人) 課制度施行
平	元	03	10	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による人事交流調印式(県庁)
平	元	03	31	2代消防長離任(派遣期間満了に伴う)
平	元	04	01	広島市消防局より派遣消防長就任(3代)
平	元	04	01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による人事交流開始
平	元	09	28	千代田局119番増設
平	元	10	11	400メガヘルツ帯消防無線機電話開設
平	元	10	18	消防組合10周年記念式典(記念誌発刊等)
平	元	11	21	日本防火協会から広報車(ニッサン)の寄贈を受け、本署に配備
平	02	03	07	広島県内航空消防応援協定締結
平	02	09	08	管理者交代(千代田町長から大朝町長)
平	02	09	13	管理者就離任式
平	02	12	18	消防ポンプ自動車(三菱CD-I型)購入し本署に配備
平	03	03	22	日本自動車工業会から救急車(トヨタ2B型4WD)の寄贈を受け、豊平出張所に配備
平	03	03	31	3代消防長離任(派遣期間満了に伴う)
平	03	03	31	消防吏員1人退職
平	03	04	01	広島市消防局より派遣消防長就任(4代)
平	03	04	01	消防吏員1人採用(退職補充 定員40人 実員40人)
平	03	04	01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第2次人事交流
平	03	04	21	毎日勤務者週42時間勤務(第2及び第4土曜日閉庁)施行
平	03	04	21	隔日勤務者46時間勤務施行
平	03	04	25	管理者交代(大朝町長から豊平町長)
平	03	10	30	中国横断自動車道広島浜田線消防相互応援協定締結
平	03	11	20	指揮車(スバル レガシー)購入し本署に配備
平	03	12	05	消防無線全国共通波基地局増設
平	03	12	06	緊急通報システムセンター機器(あんしん電話)新設 稼動開始
平	03	12	07	中国横断自動車道広島浜田線全線開通
平	03	12	19	山県東中部消防組合規約変更許可(広島県知事・指令地第88号)
平	04	02	24	公用車(トヨタ マークII)購入し本署に配備
平	04	03	31	消防吏員1人退職
平	04	04	01	週40時間勤務の施行及び中国横断自動車道広島浜田線の全線開通に伴う業務増のため消防吏員7人採用(定員46人 実員46人)
平	04	04	01	隔日勤務者週44時間勤務施行
平	04	05	20	山県東中部防火連絡協議会設立
平	04	07	10	広島県新救急医療情報システム始動
平	04	10	31	本署車庫、事務所等増築工事完了 鉄骨造2階建・延べ面積97.3㎡・総工費16,419千円
平	05	01	20	大朝出張所車庫棟増築工事完了 鉄骨造平屋建・延べ面積28.8㎡・総工費1,906千円
平	05	01	27	救助工作車(日野 レンジャー)購入し本署に配備
平	05	02	02	広島県同栄社共済農業協同組合連合会から救急車(ニッサン2B型4WD)の寄贈を受け、本署に配備
平	05	04	01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第3次人事交流
平	05	07	11	週40時間勤務(完全土曜閉庁)施行
平	05	09	09	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)

年 月 日	概 要
平 05 10 26	広島県内高速道路消防相互応援協定締結
平 05 10 28	畑地区119番通報デジタル化(千代田局化)
平 06 03 31	4代消防長離任(派遣期間満了に伴う)
平 06 04 01	広島市消防局より派遣消防長就任(5代)
平 06 04 01	山県東中部消防本部と広島市消防局による人事交流開始
平 06 05 27	最初の救急救命士資格取得(1人)
平 06 09 08	救急救命士養成課程派遣1人(広島市消防局救急救命士養成所)
平 06 11 01	広島県総合防災行政無線局開局(平成7年4月1日運用開始)
平 07 01 17	兵庫県南部地震(阪神、淡路大震災)へ緊急消防援助隊(救助隊1隊5人)派遣(1月17日から25日までの9日間、3隊15人を派遣)
平 07 01 30	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入し本署に配備
平 07 03 31	山県東中部消防組合15周年記念式典
平 07 04 01	山県東中部消防本部と山県西部消防本部による人事交流
平 07 04 01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第4次人事交流
平 07 04 27	救急救命士資格取得(1人)実員2人
平 07 08 01	社団法人日本損害保険協会から水槽付(1,700ℓ)消防ポンプ自動車(ニッサンコンドル)の寄贈を受け、大朝出張所に配備
平 07 09 12	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平 07 12 29	消防ポンプ自動車(いすゞエルフCD-I型4WD)購入し豊平出張所に配備
平 08 03 29	山県東中部消防組合同約変更許可(広島県知事・指令地方第97号)
平 08 03 31	消防吏員1人退職
平 08 04 01	消防吏員1人採用(退職補充 定員46人 実員46人)
平 08 04 01	山県東中部消防本部と広島市消防局による第2次人事交流
平 08 05 17	救急救命士資格取得(1人)実員3人
平 08 07 11	広島県防災ヘリコプター応援協定締結
平 08 09 12	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平 08 10 01	消防組織法の一部改正による消防職員委員会設置
平 09 03 31	5代消防長離任(派遣期間満了に伴う)
平 09 04 01	広島市消防局より派遣消防長就任(6代)
平 09 04 01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第5次人事交流
平 09 05 15	救急救命士資格取得(1人)実員4人
平 09 06 05	山県東中部危険物安全協会発足10周年記念防災講演(前・島原市長 鐘ヶ江 管一氏)
平 09 09 11	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平 09 09 30	養護老人ホーム「仁愛園」と蔵迫3区の災害応援協力協定締結式
平 09 10 22	第1回自衛消防隊消防競技大会開催
平 09 11 04	特別養護老人ホーム「やすらぎ」と大朝五丁目部落の災害応援協力協定締結式
平 09 11 28	通信指令室増築工事完了 鉄骨造平屋建・建築面積57.6㎡・建築費32,000千円
平 09 12 02	特別養護老人ホーム「ゆりかご荘」及び「ケアハウスゆりかご」と阿坂自治会の災害応援協力協定締結式
平 10 02 03	山県東中部消防組合同約変更許可(広島県知事・指令地方第95号)
平 10 03 04	自治体消防発足50周年記念防災講演会 講演者(東京大学地震研究所広島地震観測所 主任 三浦 勝美氏)
平 10 03 17	消防緊急通信指令施設工事完了
平 10 04 01	消防緊急通信指令システム運用開始
平 10 04 01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第6次人事交流
平 10 04 01	山県東中部消防本部と広島市消防局による人事交流
平 10 05 14	救急救命士資格取得(1人)実員5人
平 10 05 21	消防緊急通信システム開設式
平 10 09 11	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平 10 10 23	第2回自衛消防隊消防競技大会開催
平 10 11 09	携帯電話からの119番通報受付業務の開始
平 10 11 09	第1回全国消防広報コンクールポスター部門で、消防庁長官表彰受賞
平 11 02 18	第7回全国救急隊員シンポジウムが広島市で開催され、救急救命士を含む5人がデモンストレーションに出場
平 11 03 31	6代消防長離任(派遣期間満了に伴う)

年	月	日	概	要
平	11	04	01	7代消防長就任(部内登用)
平	11	04	01	広島市消防局から次長就任
平	11	04	01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第7次人事交流
平	11	04	01	組織改正(消防署の課制を係制に改正)
平	11	04	22	救急救命士資格取得(1人)実員6人
平	11	09	09	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	11	09	30	本署消毒室新設工事
平	11	10	19	山県東中部消防組合設立20周年記念式典
平	11	12	31	コンピューター西暦2000年問題警戒(第一次)
平	12	02	29	コンピューター西暦2000年問題警戒(第二次)
平	12	03	31	次長広島市消防局へ帰任(定員46人、実員45人)
平	12	04	01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第8次人事交流
平	12	04	21	救急救命士資格取得(1人)実員7人
平	12	09	07	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	12	09	09	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入し豊平出張所に配備
平	12	10	20	第3回自衛消防隊消防競技大会開催
平	13	01	18	特別養護老人ホーム「正寿園」・老人保健施設「あけぼの」・医療法人明和会「益田病院」と新宮町・東横町防災ボランティアとの災害救護応援協力協定締結式
平	13	02	28	高規格救急自動車(トヨタ2B型4WD)購入し大朝出張所に配備
平	13	03	24	芸予地震発生(大規模地震対応マニュアルに基づき対処)
平	13	03	31	事務吏員1人退職
平	13	03	31	山県東中部消防本部と広島市消防局による人事交流者帰任
平	13	04	01	消防吏員、事務吏員各1人採用(退職及び欠員補充 定員46人 実員46人)
平	13	04	01	山県東中部防火協会設立(危険物安全協会と防火連絡協議会の統合による)
平	13	05	10	救急救命士資格取得(1人)実員8人
平	13	06	12	平成13年度婦人防火クラブ員救急講習会モデル地域指定を受ける(豊平町5クラブ)
平	13	09	10	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	13	09	26	訓練塔改修整備
平	13	10	17	第4回自衛消防隊消防競技大会開催
平	13	10	23	中国・四国ブロック緊急消防援助隊合同訓練参加(高知県、1隊5人)
平	14	04	01	山県東中部消防本部と高田地区消防本部による第9次人事交流
平	14	04	18	救急救命士資格取得(1人)実員9人
平	14	07	19	化学防護服(3着)購入
平	14	09	09	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	14	10	01	千代田ヘリポート開所
平	14	10	23	第5回自衛消防隊消防競技大会開催
平	14	11	30	消防吏員1人退職
平	15	04	01	消防吏員1人採用(退職補充 定員46人 実員46人)
平	15	04	01	山県東中部消防組合理約変更許可(広島県知事 指令市行第10号)
平	15	04	21	救急救命士資格取得(1人)実員10人
平	15	05	26	日本防火協会「防火防災訓練用資器材助成事業」により煙体験ハウス、その他資器材の寄贈を受ける。
平	15	06	30	消防吏員1人退職(定員46人 実員45人)
平	15	09	02	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	15	10	01	消防吏員1人採用(退職補充 定員46人 実員46人)
平	16	04	16	広島圏域メディカルコントロール協議会設置
平	16	04	21	救急救命士資格取得(1人)実員11人
平	16	09	02	救急救命士養成課程1人派遣(広島市消防局救急救命士養成所)
平	17	01	23	大朝町閉庁式
平	17	01	29	千代田町閉庁式
平	17	01	29	豊平町閉庁式
平	17	01	31	山県東中部消防組合閉庁

7 消防応援協定

- 広島県内広域消防相互応援協定 昭和62年10月 1日締結
- 広島県内航空消防応援協定 平成 2年 3月 7日締結
- 浜田自動車道(浜田～千代田)消防相互応援協定 平成 3年10月30日締結
- 広島県内高速道路消防相互応援協定 平成 5年10月26日締結
- 広島県防災ヘリコプター応援協定 平成 8年 7月11日締結
- 県境隣接広域相互応援協定 平成17年 4月 1日締結
- 浜田市・北広島町消防相互応援協定 平成19年 4月 1日締結

